

「広域連合委員会」におけるカーボン・オフセットの実施について

平成27年9月27日

広域環境保全局

関西広域連合では、低炭素社会づくりの取組の一環として、カーボン・オフセット制度の普及等、クレジットの広域活用について取り組んでいます。

このたび、関西広域連合委員会の開催に伴い排出される温室効果ガスを”実質的にゼロ”とするカーボン・オフセットの試験的な取組とその広報を行うことにより、関西圏域におけるこの取組を促進し、関西における森林保全活動や企業の環境活動を支援する等、地球温暖化対策の推進に貢献します。

1. カーボン・オフセットを実施する会議

平成27年9月27日（日）開催の「広域連合委員会」

※ 2回（夏季（今回）、冬季（12月予定））の関西広域連合委員会を対象として実施する予定。

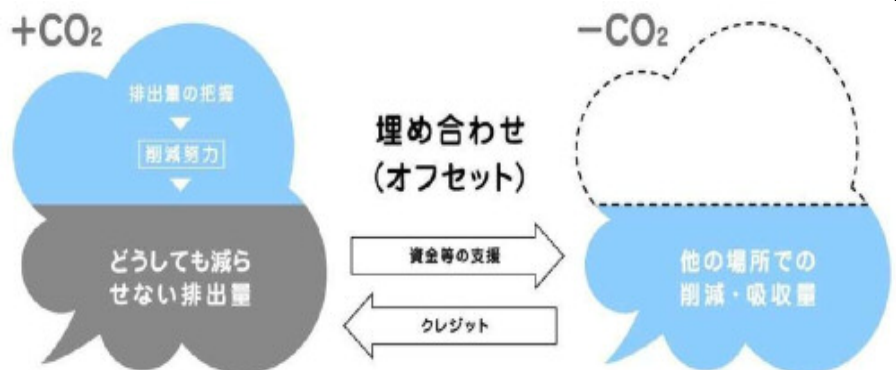
2. 取組結果の広報

取組の完了報告や削減実績等をホームページで公表するとともに、カーボン・オフセットの促進のための取組事例として活用していきます。

<参考> 「カーボン・オフセット」とは？

カーボン・オフセットとは、自己の活動による温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収により創出された削減量等（クレジット）を購入してオフセット（埋め合わせ）することをいいます。

市民や事業者等が主体的に地球温暖化対策に貢献できる手段の一つです。



出典）平成26年度カーボン・オフセットレポート（環境省）

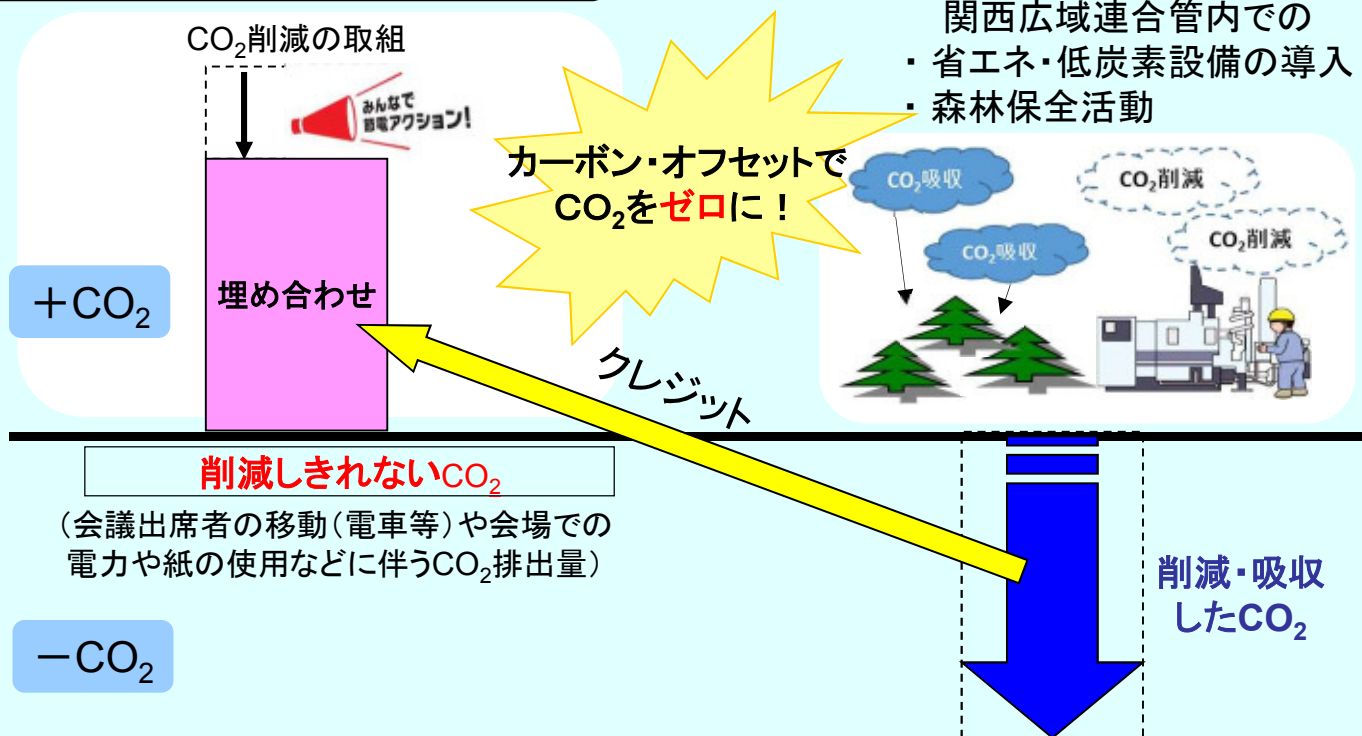
平成27年9月27日 広域連合委員会 “カーボン・ゼロ会議”として開催！

関西広域連合では、低炭素社会づくりの取組の一環として、クレジットの広域活用に取り組んでいます。

このたび、「広域連合委員会」の開催に伴って発生するCO₂をカーボン・オフセット※することにより、“カーボン・ゼロ会議”として開催し、地球温暖化対策の推進に貢献します。

※ 自己の活動による温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収により創出された削減量等(クレジット)を購入してオフセット(埋め合わせ)することをいいます。市民や事業者等が主体的に地球温暖化対策に貢献できる手段の1つです。

カーボン・オフセットのイメージ



- “カーボン・ゼロ会議”は、関西広域連合の「夏の節電アクション」「冬の節電アクション」に合わせ、各1回ずつ実施します。
- 次回実施時(平成27年12月予定)は、集約印刷による紙の削減やカーボン・オフセット商品の利用などにも取り組む予定です。
- 取組結果は連合ホームページに掲載するとともに、カーボン・オフセットの促進のための取組事例として活用していきます。

地域のチカラを結集し、個性とパワーあふれる関西へ!

関西広域連合 広域環境保全局
Union of Kansai Governments